

# 西山森林整備構想

つなげたい みどりの西山 未来の子らへ



平成18年2月 策定

平成27年4月 改定

西山森林整備推進協議会

## 長岡京市民憲章

長岡京市の古い歴史と伝統は心にうるおいを与え、西山の豊かな緑は明日への英気を養ってくれます。

この恵まれた歴史と自然を生かし、みんなが力を合わせて生きがいのあるまちをつくるために、この憲章を定めます。

わたくしたちは長岡京市民は、

- 1, 緑と水を大切にして、健康で美しい環境のまちをつくりましょう。
- 2, 明るい笑顔と助け合う心を大切にして、住みよいまちをつくりましょう。
- 3, 学ぶ心と歴史遺産を大切にして、文化の豊かなまちをつくりましょう。
- 4, 働く喜びと家庭のうるおいを大切にして、産業とくらしの調和のとれたまちをつくりましょう。
- 5, 平和と人権を大切にして、心のふれあうまちをつくりましょう。

昭和 52 年 11 月 3 日制定

### キャッチコピーの優秀作品

#### ■ 最優秀賞 つなげたい みどりの西山 未来の子らへ

説明：美しい西山を市民みんなの手で守り育て、新しい世代へ引き継いでいこう  
札幌市 小寺光雄さん

#### □ 優秀賞 残そう西山の自然 子供の夢・未来

説明：西山の自然を通じて、次世代の子供たちに夢や未来が豊かに育まれることを訴えています

久留米市 二俣浩二さん

#### □ 優秀賞 里山 西山 恵みの山

説明：言葉にリズムをあたえ、西山を表現した

京都市 鳥居万恭さん

# 目 次

構想の改定にあたって	1
------------	---

## 1 西山森林整備構想について

1-1 はじめに	2
1-2 西山について	2
1-3 西山の森の特徴	3
1-4 森林整備構想作成の背景	5
1-5 森林整備構想の改定について	6
1-6 森林整備構想改定の方法	6
1-7 森林整備構想の対象	6

## 2 森林整備計画

2-1 森林整備の目標	7
2-2 森林整備計画	8
付属資料 森づくりイメージ図	12
2-3 基盤整備計画	18
2-4 環境教育（次世代教育）の場としての整備計画	19

## 3 実行への手順

## 4 役割分担

図 森林整備実績（平成16年度～26年度）

長岡京市全図

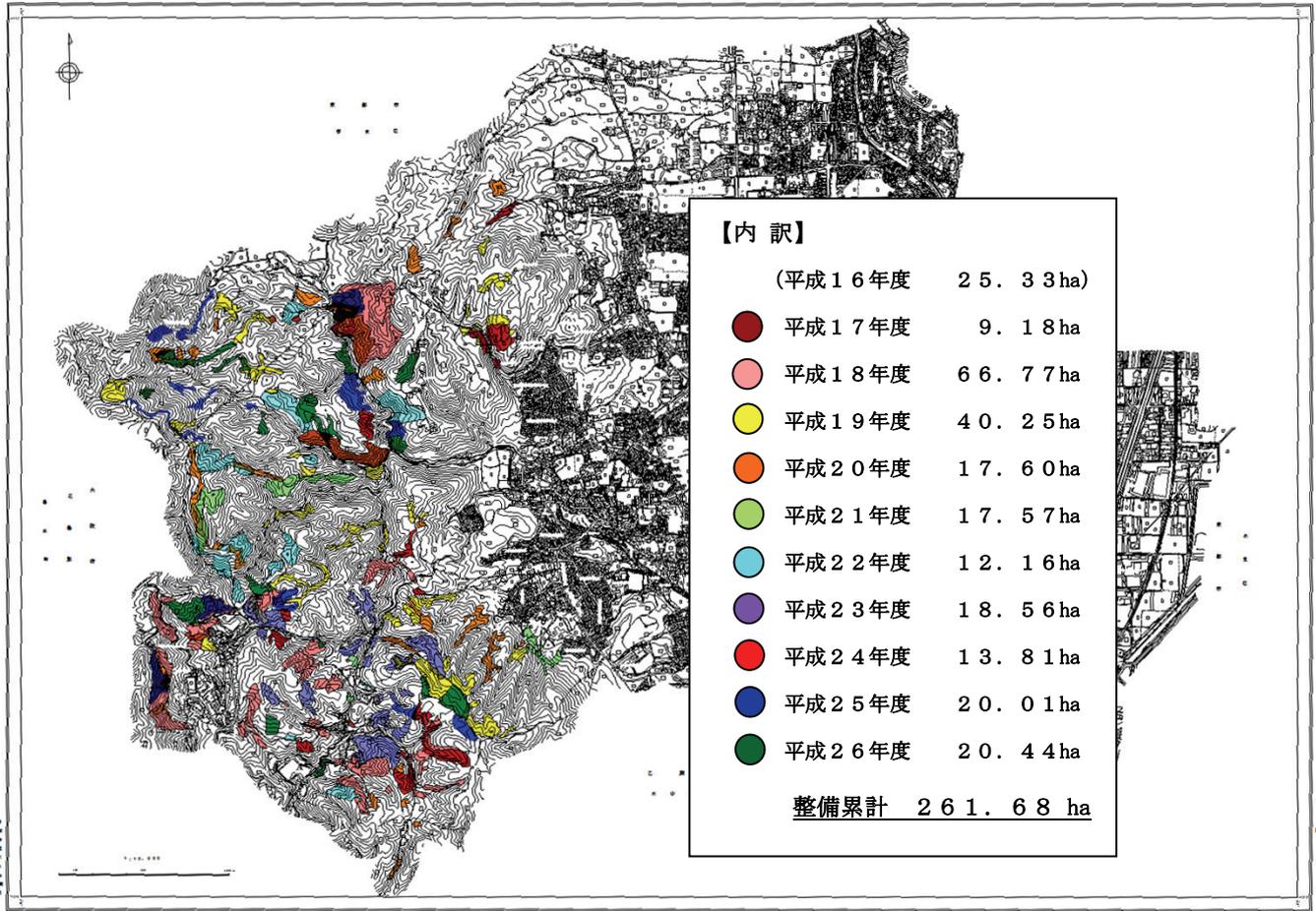


表 森林整備割合（林種別）

■ 森林整備実績（H16～H26）

単位＝ヘクタール

項目 / 年度	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	合計
人工林	25.33	0.42	58.3	32.87	4.14		1.71	14.74	7.3	7.06	12.69	164.56
二次林		8.76	7.81	6.96	13.36	15.28	9.96	2.65	3.3	9.69	7.11	84.88
竹林			0.66	0.42	0.1	2.29	0.49	1.17	3.21	3.26	0.64	12.24
整備面積合計	25.33	9.18	66.77	40.25	17.6	17.57	12.16	18.56	13.81	20.01	20.44	261.68

■ 森林整備の進捗割合

単位＝ヘクタール・%

	総面積	整備面積	整備面積 (重複除く)	整備割合 (%)
人工林	122.96	164.56	119.48	97.17
二次林	495.07	84.88	80.93	16.34
竹林	162.06	12.24	12.24	7.55

※竹林の総面積には、農地としての竹林が重複しています。

## 構想の改定にあたって

長岡京市のシンボルであり、環境を考える上で欠かすことのできない西山を、もっと市民の皆さんに「身近に感じ、訪れ、知っていただきたい」との思いから平成 17 年に西山森林整備推進協議会が発足いたしました。

皆さんが西山に来てくださるようになるにはどうしたらよいかと、地元の方々・西山で活動されているボランティア団体・関係企業・大学・行政等が知恵を出し合い、訪れやすい、里山としての西山の復活のために整備を続けてきました。具体的には、明るい西山、入り込みやすい西山のため、道の整備、道沿いの森林の受光伐、手入れの遅れた人工林の間伐、放置竹林や侵入竹の伐採などを行ってきました。その結果、この 10 年間で対象となる西山の森林区域（約 800ha）の内、約 33%（人工林 97%、二次林 16%、竹林 7%）を整備することができました。

しかし、森林は日々成長するため再度整備する必要性が生じてまいりました。特に竹は拡大していく速度が早いため、西山のすべての森林を対象に同じように手入れをするには、莫大な時間と経費がかかります。

そこで、本協議会が発足してから 10 年目となるこの機会に、西山の現在の植生の分布や利用のあり方を再検討し、この度、新たな森林整備構想を作成しました。今回の構想では、これまでの整備から得られた知見を基に、今後の整備をより効率的に行えるように配慮しております。

これまでご協力くださった関係者の方々には深くお礼申し上げますとともに、ますます発展する長岡京市にふさわしい西山の整備と利用促進に向け、ご理解とご協力をお願いいたします。

西山森林整備推進協議会  
会長 徳地 直子

## 1 西山森林整備構想について

### 1-1 はじめに

この整備構想は、「長岡京市緑の基本計画」の主要プロジェクトである「西山総合保全プロジェクト」や「長岡京市環境基本計画」「長岡京市森林整備計画」などの西山の森に関係する指針や基本計画に基づき、西山の森の整備や保全を総合的に考え進めていくための指針を示すとともに、実施への手順と役割を明らかにします。

また、この構想の見直しに当たり、平成18年に策定した整備構想に基づきこれまで進められてきた森林整備等についての検証を深め、その内容に更なる検討を加え、より良い西山の整備を目指します。



西山森林整備推進協議会  
イメージキャラクター  
「めじろ先生」

### 1-2 西山について

西山は、京都盆地の西を南北に走る山なみで、広くは愛宕山・嵐山を含み、天王山に至ります。西山連山には、標高は679メートルの加茂勢山（ポンポン山）、標高270メートルの天王山があります。その前景には、標高230メートルの野山があり、江戸時代には「奥山」と呼ばれ、石灰が採取され、松茸がとれる豊かな山でした。

長岡京市域の西には、標高300メートル以上の山頂小起伏面が重なり、NTT柳谷無線中継所の付近は400メートル前後です。

山麓部は急斜面で開発が難しく、近郊緑地保全区域に指定されていることにより、多くの森林が残り、多様な動植物が生育するなど、本市の貴重な緑の資源であるとともに本市の代表的な景観となっています。また、乙訓地域の農地を支える重要な役割を果たしています。

この西山連山から育まれる地下水は、古くから豊かで良質な水源として「天王山・西山水系」と称されています。



### 1-3 西山の森の特徴

西山の山麓には現役の管理竹林があり、京のブランド野菜の一つである京タケノコが生産されています。

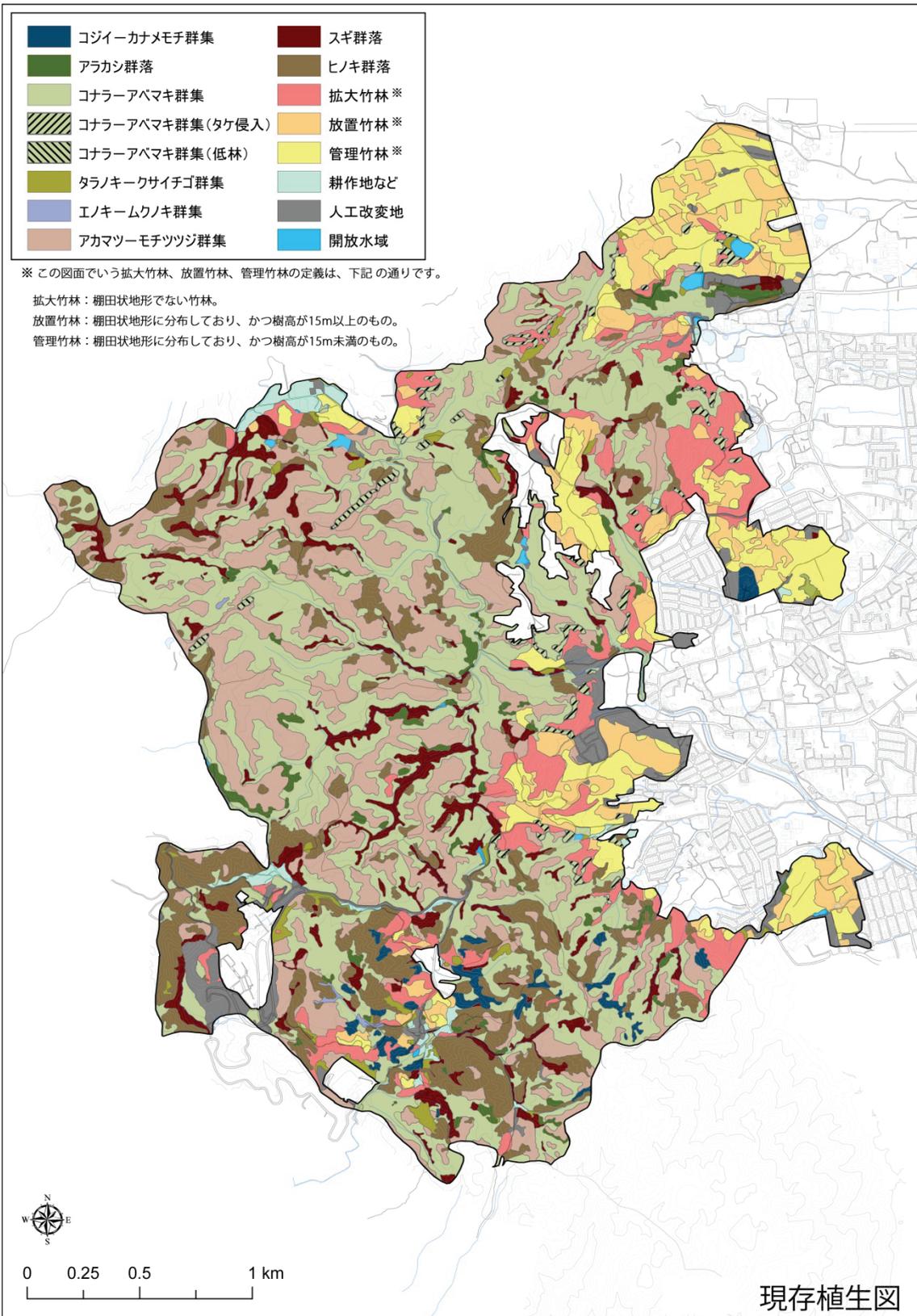
一方、奥山には薪炭林として利用されてきた二次林が広がっており、コナラ・クヌギ・ナラガシワなどの落葉広葉樹や、アカマツなどの針葉樹が混生した豊かな自然が残されています。また、ヒノキ・スギの造林も行われています。

都市近郊の数少ない森林レクリエーション空間として、幅広い利用も行われており、多くの散策者や入り込み利用者が訪れています。

かつて「長岡京」という都が置かれた歴史上の要所として、周辺には数多くの史跡や名勝が点在し、光明寺一帯にはビャクシン、ケヤキ、エノキ、ムクロジなどの大径木がみられるなど、貴重な自然環境と歴史観光資産の宝庫です。

※ 二次林とは…原生林（一次林）が、伐採や火災などによって失われた後に、自然または人為的に再生した林。





## 1-4 森林整備構想作成の背景

このように、西山の森は、社会的に非常に重要なものであり、防災機能や水源涵養機能やレクリエーション空間としての機能など多面的な役割を担ってきました。しかし、以下のような要因から、森林を取り巻く状況は、大きく変わりつつあることがわかってきました。

- ・ 社会情勢や生活様式の変化などにより、放置された森林が増加
- ・ 作業道など、森林の手入れや利用のための基盤不足
- ・ 世界から国、都道府県、市町村レベルへ生物多様性保全機運の高まり
- ・ 「マツ枯れ」の進行、「ナラ枯れ」の発生と拡大
- ・ シカ、イノシシによる森林被害の拡大（生息密度、採食圧の強度の増加）
- ・ 森林整備による植生の変化

…これらが、森林植生に、次のような影響を及ぼしています。

### 影響 1…森林空間機能の低下

人為的影響が大きい二次林や、マツ枯れ跡、ナラ枯れ跡の林などが放置された箇所では、部分的に次のような問題が起こることが予想されます。

- ・ 林の中が暗くなり過ぎて林内植生が減少
- ・ 水源涵養機能の低下
- ・ 動植物の生息・生育空間としての機能が低下
- ・ 森林景観が悪化
- ・ 基盤としての土壌を保全する機能の低下
- ・ 豊かな農地を支える機能の低下
- ・ ソヨゴやアラカシなどの常緑樹の遷移により、限られた樹種だけが繁茂して、貧相な植生になる

※ 遷移とは…生態学用語で、一定場所の生物集団、ことに植物の群落が次々に構成内容を変えて、最終の安定状態（極相 climax）へと移っていく過程。

### 影響 2…放置竹林の拡大

もともとは森林植生が生育していた部分にまで竹が拡大して、多様な郷土樹種が減少している部分もあります。竹が必要以上に拡大しすぎれば、森林が持つ水源涵養機能の低下や、急傾斜地における土砂災害の危険性の増加、種の多様性の減少など様々な問題が懸念されます。

### 影響 3…「望ましい植生」の減少

いわゆる「里山」の植生が持つ幅広い機能などは、人の手による適正な利用や働きかけが無ければ低下し失われてしまいます。森林や竹林が急激に放置されはじめたことで、このような美しく恵み多い「望ましい植生」が減少しはじめています。

## 1-5 森林整備構想の改定について

長岡京市の貴重な緑の資源であり、京都・大阪の都市近郊にあつて豊かな自然環境を保全できる希少な西山の森林を、森林所有者・地域住民・環境団体・企業・学識経験者・行政などの関係者が連携して整備することにより、緑の保全をはじめ、水源の涵養、災害の防止、生物多様性の確保、望ましい景観やレクリエーション空間の形成、地球温暖化の防止など、森林の持つ多様な機能を高度に発揮させ、美しく良好な環境の創造に資することを目的として、見直しを実施します。

## 1-6 森林整備構想改定の方法

西山森林整備推進協議会ワーキング会議において検討を行うとともに、必要に応じて、現地検討会や植生調査などを行います。また、適宜、地元説明会や広報等を積極的に行い、幅広い理解を得ながら、意見や情報を集めて森林整備構想を取りまとめます。

さらに、これまで進められてきた森林整備やこれから実施する森林整備の経過を踏まえ、新たに見えてきた問題点について、必要に応じて見直しを進めます。

## 1-7 森林整備構想の対象

長岡京市内の、西山一帯の森林区域（約800ha）を対象とします。

## 2 森林整備計画

### 2-1 森林整備の目標

「美しく、楽しく、健全な恵みの森」を保全育成します

#### 1) 山麓部や入り込みの多いところでは…

西山の緑の恵みを楽しむ里山林へ

- ・ 十分な間伐や枝打ちがなされ、資源循環利用の見本となるスギ・ヒノキの造林地
- ・ 維持管理がいきとどいた美しい竹林
- ・ 落葉広葉樹主体の明るく恵み多い里山林
- ・ 鳥の餌木や、実のなる木の多い林
- ・ カエデやサクラなどの花木が多い遊歩道
- ・ 環境学習の場となる豊かな森林生態系を保全育成

#### 2) 山の奥地では…豊かな自然の山へ還していく

- ・ 鳥や蝶や野生動物などの豊かな生息環境となる植生
- ・ 防災面、景観面に配慮したスギ・ヒノキの造林地
- ・ 水辺の多様な植生、豊かな水源林
- ・ 尾根部の適地では、松林の保全再生にもチャレンジ！



## 2-2 森林整備計画

森林整備の実施に賛同いただける森林所有者と幅広い主体が協働して、具体的な森林整備計画を作成し、整備をしていきます。

### ・森林の有する多面的機能を発揮させるヒノキ・スギの森づくり計画

森林は、水源のかん養、土砂災害の防止、木材生産の保全など、極めて多くの多面的機能を有しています。すでにヒノキやスギの植林地になっているところで間伐が手遅れになると、森林が本来もっている多面的機能が損なわれる恐れがあります。

山麓部や入り込みの多いところでは、計画的な間伐や枝打ちなどの手入れを行い、木材としての利用の促進を行うとともに、豪雨等による災害の拡大を未然に防止する観点から、搬出間伐を推進することとし、森林資源循環利用の見本となるような健全で美しい人工林の育成と活用を行います。

一方、伐採した材の搬出が困難な山の奥地では、野生の動植物の生息環境の保全に配慮するとともに、林内に残す伐採木については、必要に応じて枝払い・片付け・土留めを実施することとし、土砂災害の防止や景観に配慮した人工林の育成を進めます。

いずれの場所においても、基本的には下層植生が入ってくるよう光環境を改善することとし、森林の状況によっては地権者等との協議の上、下層に広葉樹を伴った針葉樹林を目指します。

## ・二次林における立地条件や利活用面を踏まえた豊かな森づくり計画

西山における二次林については、アカマツ林とコナラ林を主要群落とする森林が大面積を占めています。これらの森林の将来予測、立地条件や利活用面などを踏まえた上で、それぞれの条件に応じた多様な森づくりを行います。

アカマツ林を主要群落とする二次林については、ソヨゴが次世代木として出現しており、将来的にソヨゴ主体の森林に遷移することが予想されます。

乾燥する尾根や斜面上部のアカマツ林については、ソヨゴの遷移を止めアカマツ林として現状を維持、またはアカマツを再生させる整備を行うとともに、アカマツのほか、コバノミツバツツジなどの乾燥に強い樹種を主体とした明るい景観の森林を目指します。

マツ枯れが進行し、常緑広葉樹が優占化している林分では、ソヨゴの遷移を受け入れつつ、一定の地域では景観木や、鳥や蝶の餌木となる樹木を残し、多様な樹種がまんべんなく残るような整備を実施します。

コナラ林については、次世代木として、ソヨゴが出現している森林とアラカシ、ヤブツバキが出現している森林があり、将来的にソヨゴ主体、またはアラカシやヤブツバキ主体の林に遷移することが予想されます。

入り込みの多いところのコナラ林については、ソヨゴ、アラカシ、ヒサカキなどを除伐して、コナラ類を主体とした林床植生の発達や多様化を目指した整備を行うとともに、材の搬出が可能な森林では、できる限り材を有効に利用するよう材の搬出を推進することとします。なお、カシノナガキクイムシによるナラ枯れが発生している森林では、ナラ枯れ後の植生の変化を調査、把握した上で、整備の方針を決定することとします。

遷移が進行し、常緑広葉樹が優占化しているアラカシ林などの林分については、次世代木の遷移を受け入れつつ、一定の地域では多様な樹種がまんべんなく残るような整備を実施します。

### ・美しく趣き深い西山の竹林を保全育成する計画

西山の竹林産業は、長岡京市の伝統産業であり誇りうる地場産業です。孟宗畑では、京都式軟化栽培法による肥培管理が行われ、京のブランド野菜の一つである京タケノコが生産されてきました。また、日本建築に使われる竹材の生産も伝統技術を継承しつつ行われてきました。しかし、生活様式の変化等に伴い、あるいは後継者不足に陥り、一部の地域で竹林や周辺の森林が放置され荒廃化が進んでいます。

これらの放置竹林を、森林組合などのプロの力や、市民ボランティアの力を借りて整備します。この事業は、西山の保水力を高め、可能な区域では京都式軟化栽培法を継承発展させます。さらに、竹産業の発展および竹の美林としての景観を復活させることにもなります。

一方、人工林や二次林、農地へ侵入する竹については、今後、現状より拡大させない、密度を増やさないよう整備を進めることとし、特に、表土崩落の危険性が高い急傾斜地における竹林についての整備を早急に実施します。また、すでに竹が拡大してしまった区域についても、元の森林に戻すことを検討することとします。

### ・獣害対策の計画

近年、西山ではシカ、イノシシによる森林被害が増加しています。その被害により森林の更新や土壌保全、生物多様性保全の観点から、森林の果たすべき機能に大きな影響を与えています。

この現状を踏まえ、守るべき植生がある森林について、必要に応じて防護柵の設置、シカに食べられにくい不嗜好性植物の植栽をすることとし、特定鳥獣保護管理計画等に基づきシカ、イノシシが適正な頭数となるよう個体管理を推進します。

### ・防火帯の設置計画

森林火災の被害を最小限にするため、防火帯の設置を検討します。

## ・木竹資源の利活用計画

間伐や除伐により発生した木材や竹材については、以下のような手法で、できる限り有効に利用するよう努めるとともに、資源循環利用の仕組みづくりを推進します。

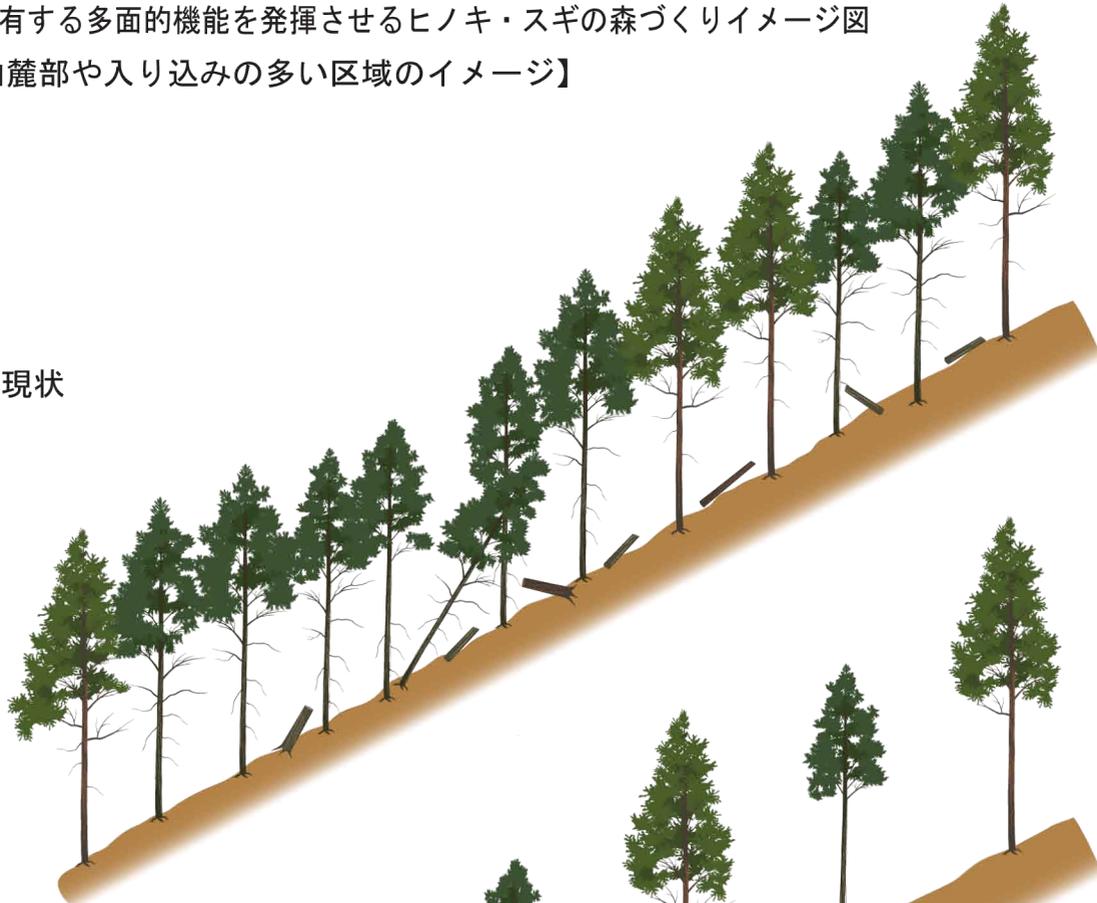
資源有効利用の障壁となっているのは「搬出」の困難さです。これを軽減するため、作業道など搬出のための基盤条件を十分に整備し、材の利用サイクルにおける搬出の効率性・経済性を向上させます。

木材の利活用については、長岡京市が策定した「公共建築物等における長岡京市産材の利用促進に関する基本方針」に基づき、公共建築物や内装材、調度品、薪などへの利用を推進します。また、竹材の利活用については、現状では、竹炭、チップ、土壌改良剤等への利用が進められていますが、今後、整備を推進するにふさわしい方途、装置づくりに努めます。



【山麓部や入り込みの多い区域のイメージ】

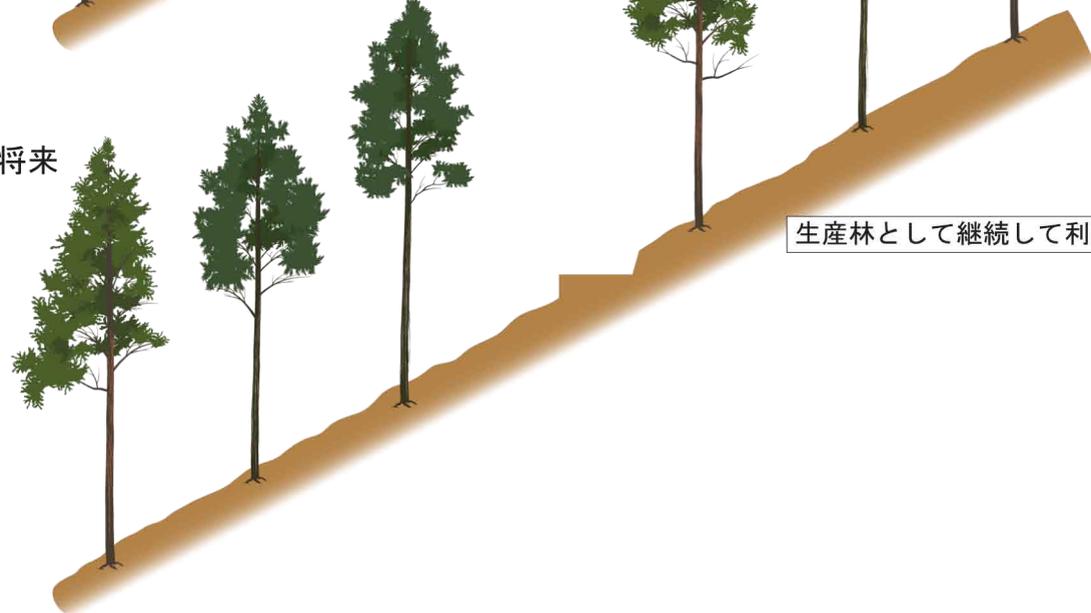
・ 現状



・ 整備後

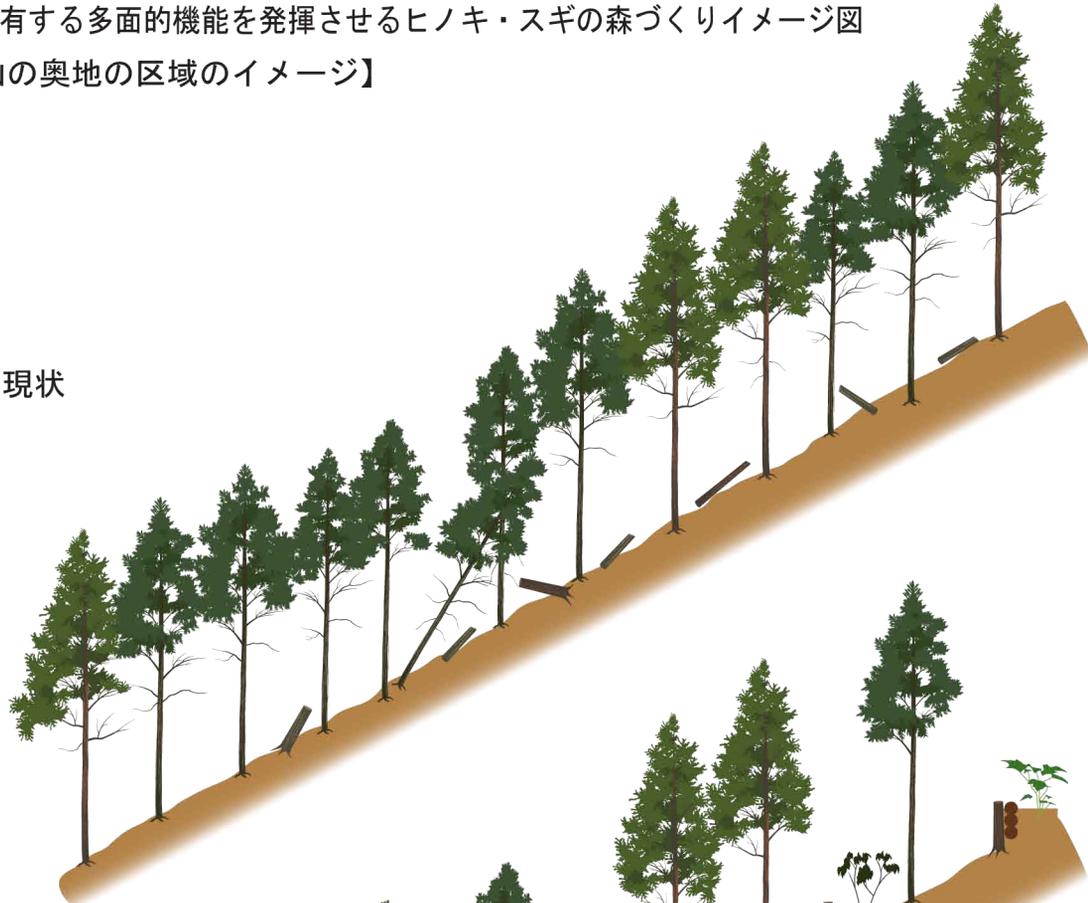


・ 将来

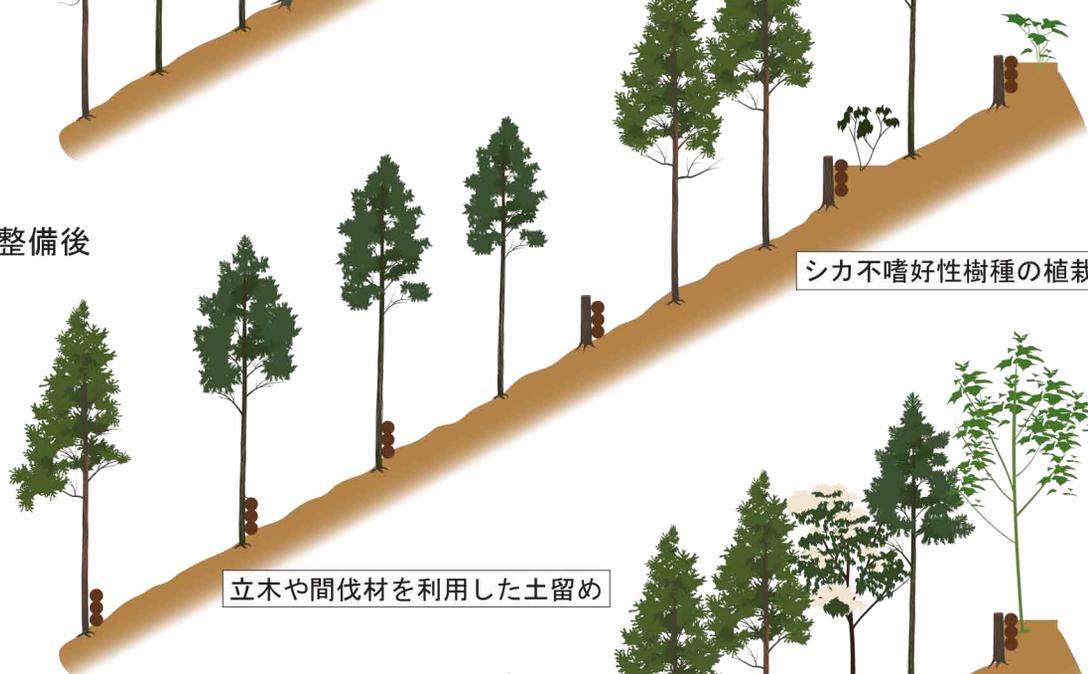


【山の奥地の区域のイメージ】

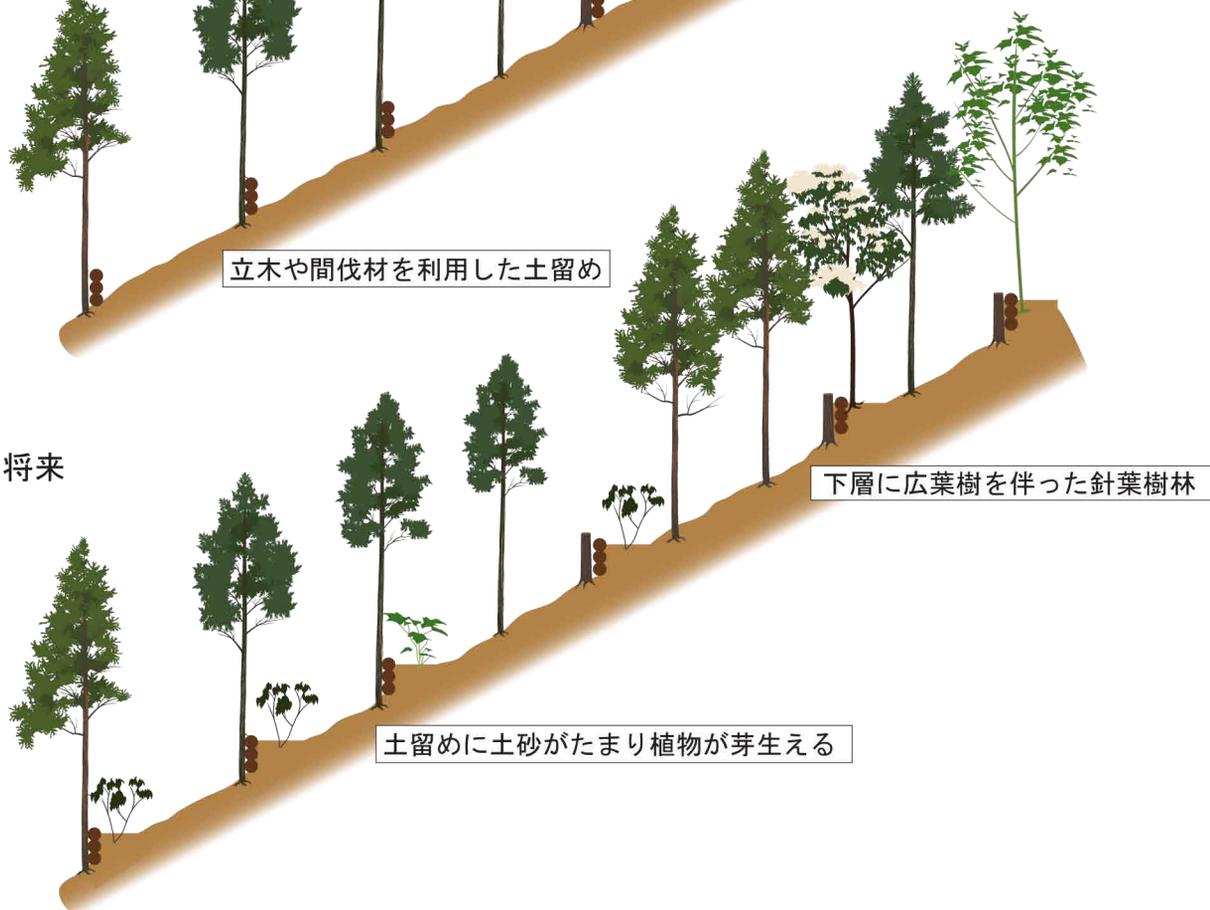
・ 現状



・ 整備後



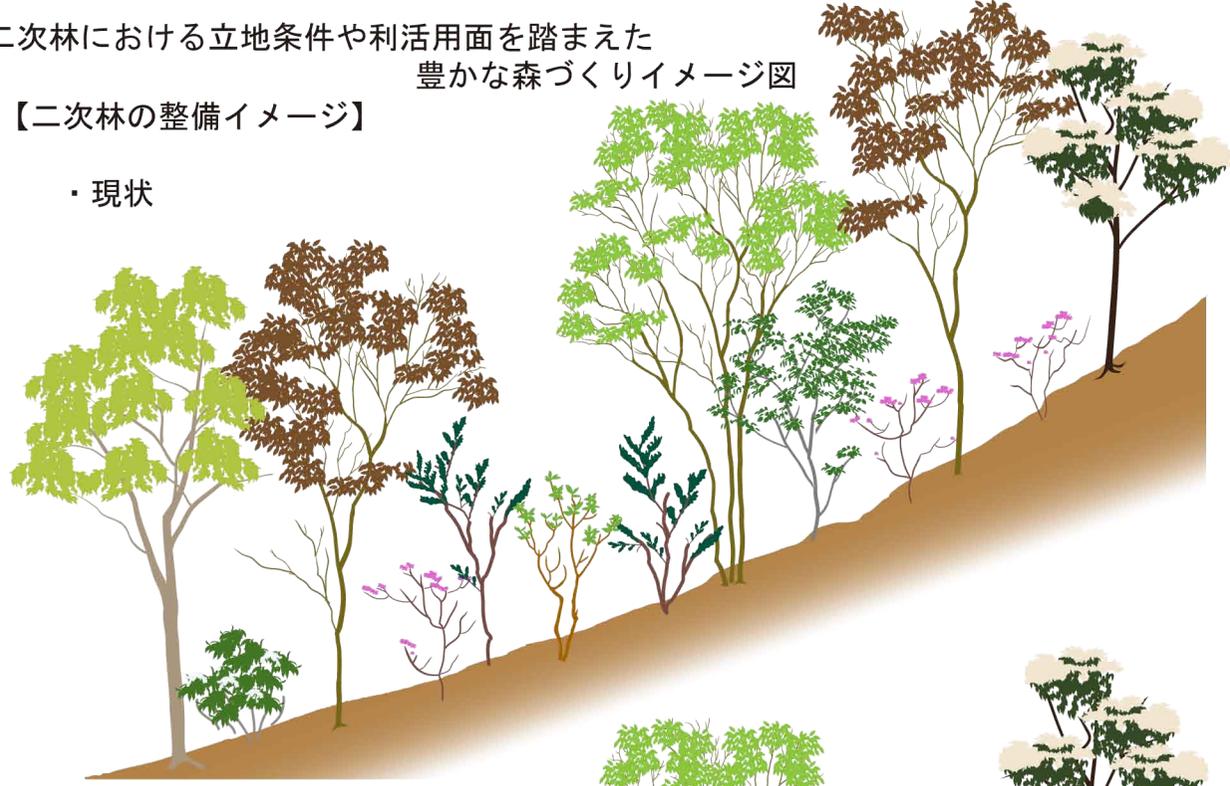
・ 将来



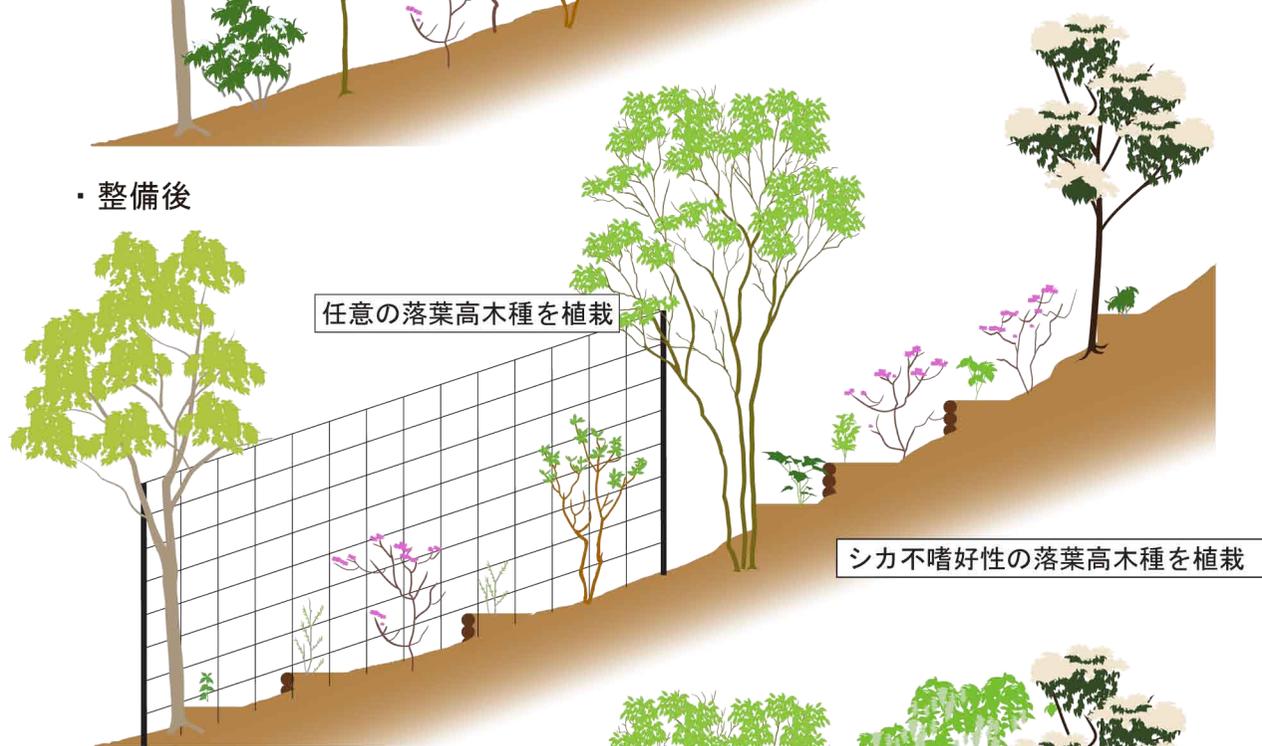
二次林における立地条件や利活用面を踏まえた  
豊かな森づくりイメージ図

【二次林の整備イメージ】

・現状



・整備後

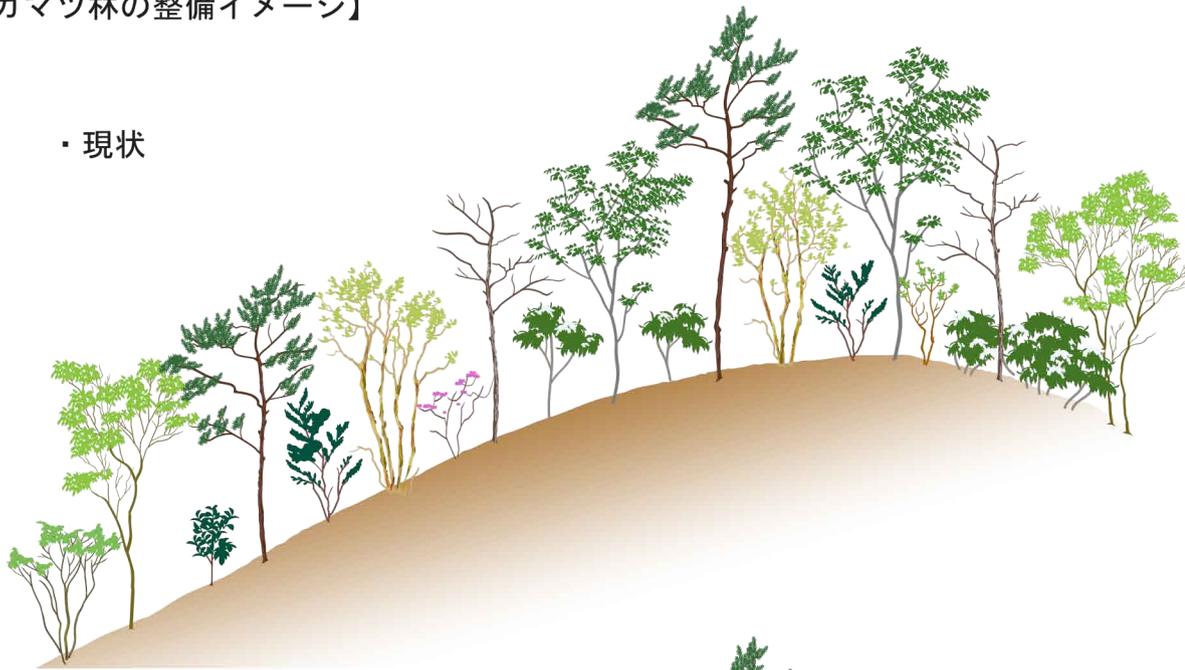


・将来

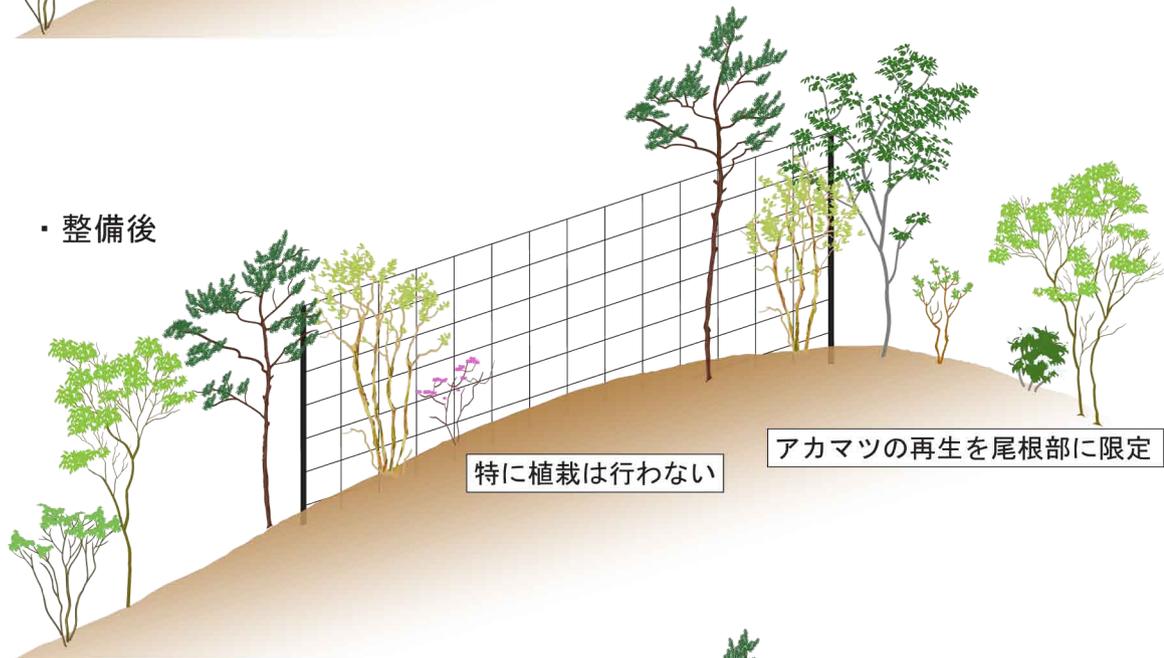


【アカマツ林の整備イメージ】

・ 現状



・ 整備後

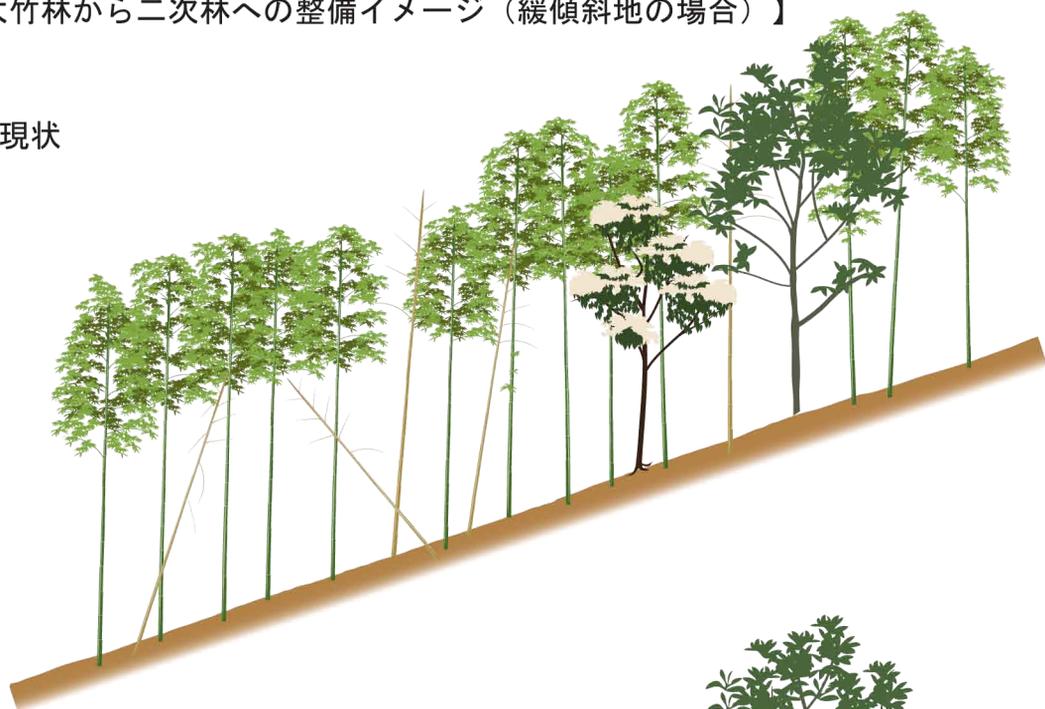


・ 将来

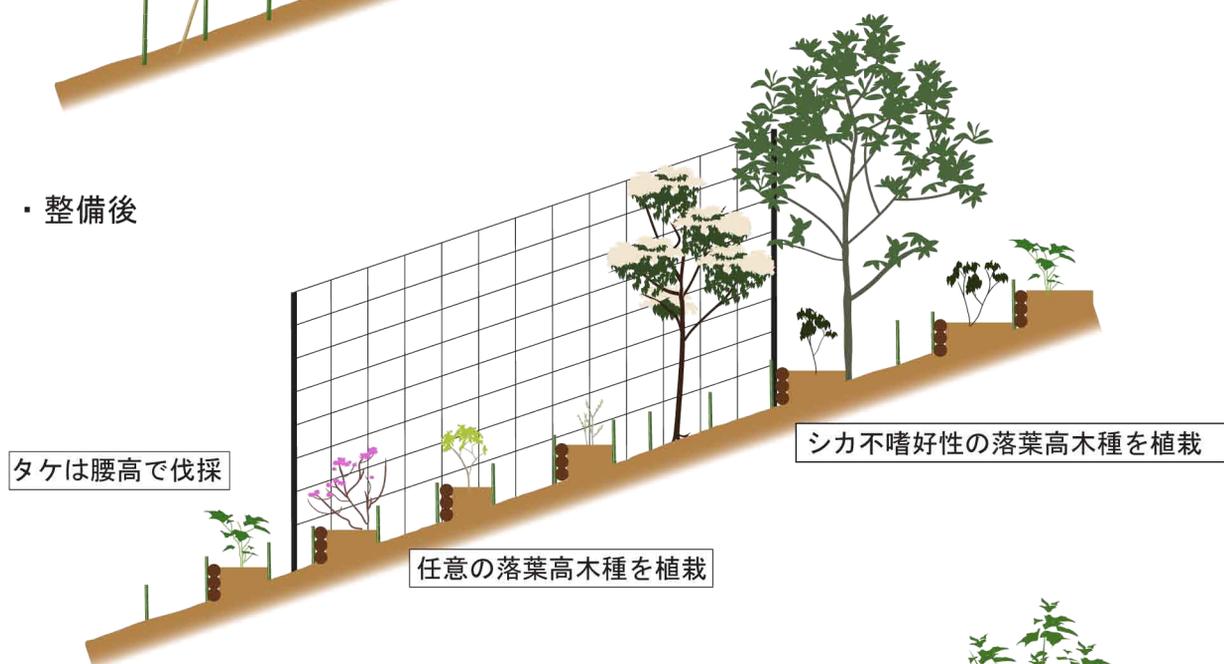


【拡大竹林から二次林への整備イメージ（緩傾斜地の場合）】

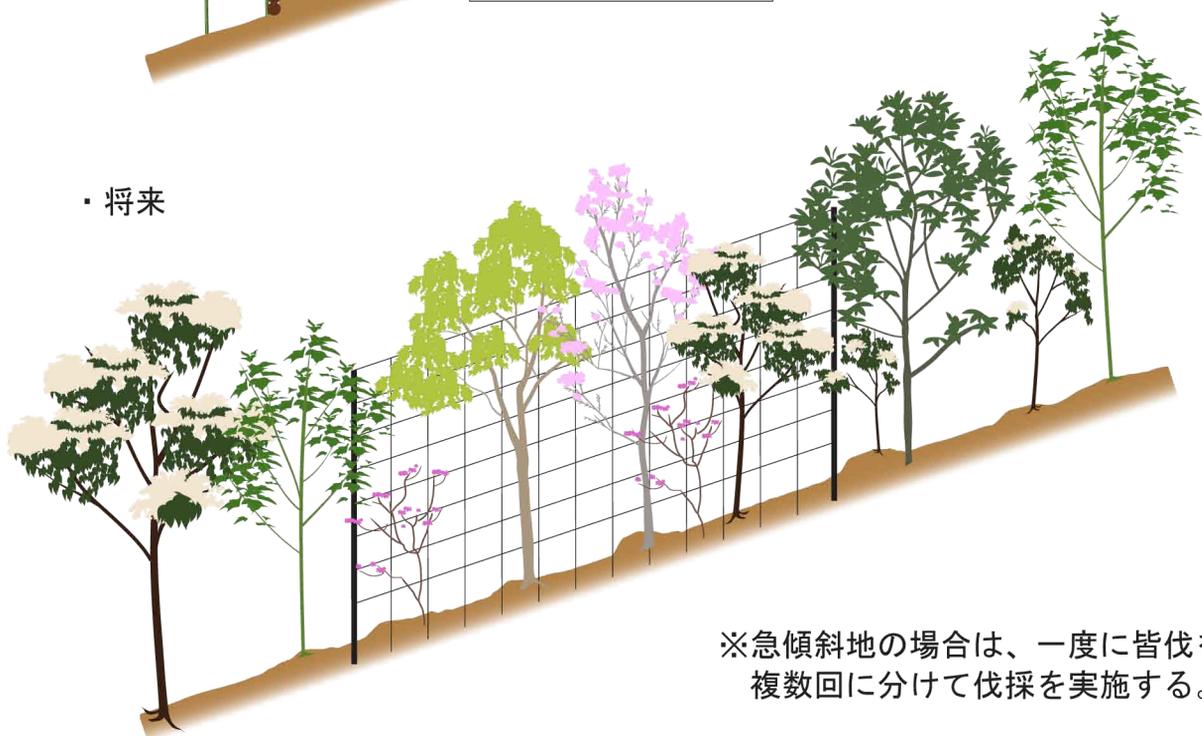
・現状



・整備後



・将来



※急傾斜地の場合は、一度に皆伐をせず複数回に分けて伐採を実施する。

【放置竹林の整備イメージ】

・ 現状



・ 整備後



・ 将来



低密度の竹林を維持

## 2-3 基盤整備計画

### 1) 作業道・林道の整備

西山の森を、望ましい自然環境として守り育てていくためには、以下のような理由で、計画的な作業道・林道などの基盤整備を継続的に行うことが必要です。

- ・造林や間伐や枝打ち等の円滑な推進
- ・将来の木竹材搬出や間伐材の利活用など資源の循環利用に必要不可欠
- ・ボランティア活動の拡大にも有益

ただし、計画や工事に当たっては、周辺環境や動植物などへの影響について配慮し、希少な自然環境の保全に努めます。また、作業道の整備により不法投棄が増加する恐れがあるため、そのための対策を講じます。

### 2) 遊歩道の整備

林道と接続した遊歩道を整備し、その両側に花や実のなる木の植栽を行うなど、森の魅力をアピールできる空間づくりに努めます。神社・仏閣をつなぐ「竹の径」などについても検討していきます。

### 3) 西山の森の保全や利用の拠点としての施設整備

奥海印寺地域に整備が予定されている（仮称）西代公園や管理棟を、西山の森の保全や利用の活動拠点として有効に活用できるように検討していきます。

### 4) 環境保全基盤の整備

施設の整備や森林整備の実行にともない、野生動物や昆虫、希少な植物や自然環境などの保全をはかるため、ボランティアや学術研究機関による植生調査の標準地確保や、生態観察のための施設やエリアを設けるなど、環境保全のための調査や確認や検証などの継続的な実施を行うモニタリング体制の基盤づくりに努めます。

## 2-4 環境教育（次世代教育）の場としての整備計画

### ・西山森と水の学校

重要な水源林である西山の姿を代表的に伝えられるようなスポットにおいて、森林の状態を観察し、望ましい森の姿について考察を行えるような森林空間を創出します。具体的には、植物や野鳥など多様な自然生物や、水源などを観察できるエリアを設けます。

#### ★環境教育の場としての整備

- ▷西山ファミリー環境探検隊
- ▷小学校の環境教育

### ・西山キャンプ場周辺の整備

比較的傾斜が緩い森の中で、森のミュージアム、冒険の森など、楽しみながら自然と触れ合えるレクリエーション空間を創出します。

### ・里山施業体験

集落や道に近くて、入りこみが容易な二次林や人工林において、間伐や下刈りなどで明るく維持された里山林の施業を体験できるエリアを確保します。

#### ★さまざまな主体による森づくり活動

- ▷京都モデルフォレスト運動
- ▷森林ボランティア行事
- ▷ボランティアの養成

### ・里山の観察、記録

多様な自然環境を幅広く安全に体験し観察できるように、できる限り自然環境に影響の少ない遊歩道や観察・休憩施設などを整備するとともに標識や案内板なども設けて、自然の観察や記録を補助します。

#### ★環境調査

- ▷モニタリング1000里地調査など

### ・住民活動を促進するための啓発活動

西山への住民の関心を高めるとともに、森林保全活動に関わる人を増やすために、西山森林整備推進協議会で活動を実施している組織の取り組み紹介や、意見交換等を行う機会を作ります。

#### ★啓発活動

- ▷西山シンポジウムなど
- ▷ホームページや広報などによる情報発信

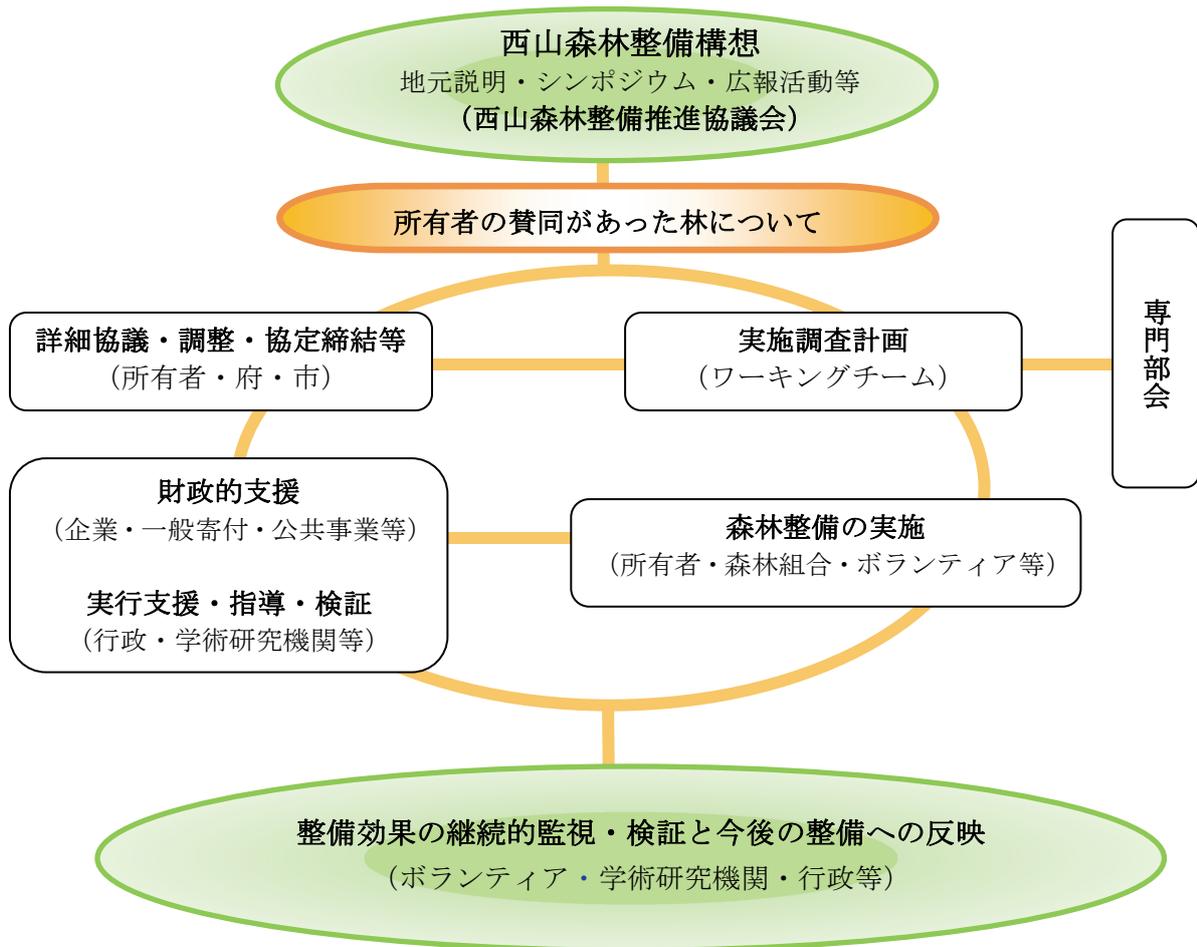
### 3 実行への手順

事業の実行は、賛同いただける森林所有者と幅広い主体が協働して行います。協議会が設けたワーキングチームによって実施計画を作成し、森林所有者と府および市が詳細を協議しつつ森林の整備を実行します。

具体的な実行形態としては、

- ①所有者が実行する
- ②所有者の同意のもと、市・企業・団体等が森林組合等へ委託し実行する
- ③所有者の同意のもと、ボランティア・NPO などが実行する  
・・・などが考えられます。

### 森林整備実施の流れ図



#### 4 役割分担

主 体	役 割
協議会・ワーキング	<p><b>森林整備構想・計画の立案</b></p> <p>「西山の森づくり」の推進母体</p> <p>啓発活動</p> <p>参画企業への事業依頼</p> <p>ボランティア団体への活動依頼</p> <p>森林整備事業の実行管理・検証・監視等</p> <p>実績のとりまとめ</p>
行政	<p><b>協議会の事務局</b></p> <p>広報誌等による住民・企業・ボランティア等への周知・参加募集</p> <p>協議会からの文書の住民・地権者等への配布</p> <p>企業・団体等からの支援費用窓口</p> <p>公共事業の導入</p> <p>地権者からの実施依頼の取りまとめ</p> <p>事業地の地権者の同意取り付け（協定締結）</p> <p>森林組合等への事業発注</p> <p><b>ボランティアの育成</b></p>
森林所有者	<p><b>構想に沿った森林整備の実施または森林整備事業への協力</b></p> <p>市・企業・ボランティア団体への事業・活動同意（協定締結）</p> <p>事業（活動）地の境界確認</p> <p>ボランティアへの森林整備技術の指導</p> <p>森林整備の実行</p>
企業	<p><b>調査計画・実施費用・資源の利活用等への支援</b></p> <p><b>イベント・広報活動等の支援</b></p> <p><b>ボランティア活動の実施</b></p>

主 体	役 割
森林組合	<b>森林整備作業の実施</b> 地権者からの受託による森林整備の実施 行政・企業等からの受託による森林整備の実施  <b>ボランティアへの森林整備技術の指導</b>
ボランティア団体等	<b>協議会・ワーキングへの参画・助言</b>  <b>森林整備実施への協力</b> 調査の実行  <b>個人参加ボランティアの指導</b>
市民・府民等	<b>森林整備への協力・人的支援</b> 地域の情報等の提供 ボランティア・企業等との交流 駐車場確保等への協力 ボランティア活動への参加
学術研究機関等	<b>森林整備計画への支援と監視、検証、助言</b> 調査の実行、動植物・自然環境の保全保護対策への指導 計画の提案・助言 森林整備の内容や効果の検証 モニタリング

## ■西山森林整備推進協議会委員名簿

(平成 27 年 4 月 16 日現在)

所 属	職	氏 名
京都大学フィールド科学教育研究センター	教授	徳地 直子
サントリーホールディングス(株) エコ戦略本部	チーフスペシャリスト	山田 健
長岡京市森林組合	組合長	春田 忠男
長岡京市森林組合	副組合長	藤井 昇二
奥海印寺財産区	議長	岡 正樹
長法寺財産区	議長	奥村 嘉治
柳谷観音楊谷寺	代表役員	日下 悌宏
総本山光明寺	本山部長	出口 歆貞
JA 京都中央農業協同組合	理事	山本 喜久
里山再生市民フォーラム	代表	南 紘之
みどりの会・西山	代表	田村 治夫
長岡京市ゲンジボタルを育てる会	会長	多貝 茂
兵庫県立大学 自然・環境科学研究所	名誉教授	服部 保
京都府山城広域振興局	副局長	藤澤 正典
京都府京都林務事務所	所長	吉川 幹雄
長岡京市環境経済部	部長	山田 勝吉
長岡京市教育委員会教育部	部長	中村 修

## ■西山森林整備推進協議会ワーキング委員名簿

(平成27年4月16日現在)

所 属	職	氏 名
京都大学フィールド科学教育研究センター	教授	徳地 直子
サントリーホールディングス(株) エコ戦略本部	チーフスペシャリスト	山田 健
サントリーホールディングス(株) エコ戦略本部	課長	岩崎 良
サントリーホールディングス(株) エコ戦略本部	課長代理	松倉 隆
サントリービール(株) 京都ビール工場	事務長	丸山 正樹
長岡京市森林組合	理事	湯川 明
長岡京市森林組合	監事	藪内 隆
長法寺財産区	議長	奥村 嘉治
柳谷観音楊谷寺	代表役員	日下 悌宏
JA 京都中央農業協同組合	副組合長理事	田村 義明
JA 京都中央農業協同組合	理事	山本 喜久
JA 京都中央農業協同組合	理事	藤井 俊一
乙訓の自然を守る会	代表	宮崎 俊一
乙訓の自然を守る会	会員	石井 寛子
乙訓の自然を守る会	会員	兼田 幹雄
NPO法人 おとくにパオ	理事	森口 和子
里山再生市民フォーラム	代表	南 紘之
里山再生市民フォーラム	会員	宮城 光夫
環境の都づくり会議	会員	加藤 克巳
NPO 法人 長岡京市竹の学校	理事	世良田 芳弘
桂川流域ネットワーク	会員	速水 紘八郎
ブリティッシュ・アメリカン・タバコ・ジャパン	広報・渉外担当	猪俣 みちよ
株式会社京都マツダ	取締役	今川 雄彦
(有)長岡美装社	代表取締役社長	今井 孝一
高野竹工株式会社	営業二課長	西田 隼人
(株)森林テクニクス	技術参与	和西 廣美
(株)里と水辺研究所	代表取締役	赤松 弘治
西田林業事務所	代表	西田 浩之
京都乙訓ロータリークラブ	西山整備委員	小森 繁男
(公財)長岡京市緑の協会	事務局長	野村 秀明
公益社団法人 京都モデルフォレスト協会	事務局次長	澤井 和一郎
兵庫県立大学 自然・環境科学研究所	名誉教授	服部 保
京都府モデルフォレスト・全国育樹祭推進課	副課長	中佐 昌弘
京都府モデルフォレスト・全国育樹祭推進課	主査	田中 太
京都府京都林務事務所 林務課	課長	内田 恵
京都府京都林務事務所 林務課	副主査	田中 光一
京都府山城広域振興局(乙訓保健所環境衛生室)	室長	谷尾 桂子
長岡京市教育委員会教育部 生涯学習課	課長	藪内 豊
長岡京市環境経済部	部長	山田 勝吉





## 西山森林整備推進協議会

電話 075-951-2121 FAX 075-951-5410

メール [nourinshinkou@city.nagaokakyo.ne.jp](mailto:nourinshinkou@city.nagaokakyo.ne.jp)

HP <http://www.nishiyama-shinrin.com/>